

2011年3月24日
セコム医療システム株式会社
セコム株式会社

東日本大震災の被災地支援

セコム医療システム(株)の提携クリニックがボランティア診療を実施

3月11日(金)に発生した東日本大震災で被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。

セコム医療システム株式会社(本社：東京都渋谷区、社長：布施達朗)の提携クリニックである「いずみ往診クリニック」(所在地：仙台市泉区)は、3月14日から15日の2日間、避難所となっている同区内の仙台市立七北田小学校と、仙台市立七北田中学校で、ボランティア診療を行いました。

いずみ往診クリニックは、仙台市泉区で在宅療養される患者さんに往診診療を提供しています。今回の東日本大震災の発生を受け、いずみ往診クリニックでは医師や医薬品不足を解消する一助になればと考え、医師会や泉区役所にボランティア診療を行うことを届け出て、訪問先を選定していただきました。

セコム医療システム(株)では、1995年1月に発生した阪神・淡路大震災のさいに、医療チームを発足し、現地で医療支援活動を行った経験もあり、今回もボランティア診療を迅速に行わせていただくことができました。

なお、今回のボランティア診療は、周辺にあるクリニックや診療所などで診療が再開され始めたため終了させていただきました。

被災地では、医療関係者をはじめ医療機器や医薬品が不足していることから、いまなお医療救護の支援が求められています。セコム医療システム(株)は、引き続き必要な支援活動を行ってまいります。

以上